

オプション検査申込書

このオプション検査は今回、受診頂く健康診断に追加することができます。
ご希望の方はこの申込書をご提出ください。

希望される項目に○を付けてください。

健診セット
S 64

¥1,700

基本的な肝臓・脂質・貧血のスクリーニング検査^{注1)}です。
血液検査がない健診を受診される方におすすめです。
* 定健 A、協会けんぽ健診受診の方は、コースに含まれております。

がん関連検査（腫瘍マーカー）

CEA
S 201

¥1,400

消化器系がんなどに有効な腫瘍マーカーです。
大腸がん、膵臓がん、胃がん、肺がんなどさまざまな疾患で上昇します。

CA19-9
S 202

¥1,400

消化器系がん（とくに膵臓・胆のう）の発見に有効な腫瘍マーカーです。
胃がん、大腸がん、膵炎などでも上昇します。

AFP
S 203

¥1,400

肝細胞がんや肝臓の病気の発見に有効な腫瘍マーカーです。
肝炎や肝硬変などでも上昇します。

PSA
S 204

¥1,400

前立腺がんのスクリーニング検査^{注1)}に有効な腫瘍マーカーです。
前立腺肥大や前立腺炎などでも上昇します。

CA125
S 205

¥1,400

卵巣がんのスクリーニング検査^{注1)}に有効な腫瘍マーカーです。
肝臓がん、胆のうがん、膵臓がん、子宮内膜症などでも上昇します。

4項目セット
S 206

¥4,000

男性・・・CEA、CA19-9、AFP、PSA
女性・・・CEA、CA19-9、AFP、CA125

ABC 検診^{注2)} ¥3,000
(胃がんリスク度検査)
S 207

胃がんになりやすいかどうかをリスク（危険度）分類します。
検査項目：ペプシノーゲン、ヘリコバクターピロリ抗体
* バリウムが苦手な方はご利用ください。

要予約
大腸がん検診 ¥1,100
S 208

大腸がん（下部消化管出血）のスクリーニング検査^{注1)}です。
検査項目：便中ヘモグロビン2日法^{注3)}
*協会けんぽ健診受診の方は、コースに含まれております

要予約
AICS^{注4)} ¥18,000
(がんリスクスクリーニング検査)
S 209

血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度の
バランスの違いを統計的に解析し、がんであるリスクを評価する検査です。

感染症

肝炎ウイルス ¥1,500
S 210

肝炎ウイルス感染が心配な方は、ご利用ください。
検査項目：B型肝炎ウイルス抗原・C型肝炎ウイルス抗体

*料金は税込価格です。

生活習慣・生活機能

糖尿病

S 211

¥500

食べ過ぎなど食生活の気になる方、運動不足の方、早めにチェックしましょう。検査項目：HbA1c

腎機能・痛風

S 212

¥300

透析にならないように早めにチェックしましょう。
検査項目：BUN・尿酸・クレアチニン・eGFR

心臓病

S 213

¥2,000

心臓の元気度をしらべます。無症候性心不全の早期発見に役立ちます。
検査項目：BNP^{注5)}

リウマチセット

S 214

¥3,000

関節リウマチの早期発見に役立ちます。
検査項目：リウマトイド因子（RF）・抗CCP抗体・CRP定量

アレルギー

アレルギー総合

S 215

¥12,500

アレルゲン 33 項目を一度にチェックしてみませんか。
検査項目：花粉(9 項目)・食物(14 項目)・環境(4 項目)・その他(6 項目)

アレルギー単項目 1 項目

希望される項目を○で囲んで下さい。
スギ・ヒノキ・カモガヤ・ブタクサ・ソバ・小麦・ピーナッツ・大豆
エビ・カニ・牛乳・卵白・ダニ・ハウスダスト・ネコ・イヌ

オプション検査

合計金額

円

注1) スクリーニング検査とは、病気の疑いのある人を見つける、ふるいわけ検査です。

注2) ピロリ菌除菌歴のある方はご遠慮ください。

現在、胃の疾患で通院中の方は正しい結果が得られない為、主治医にご相談ください。

注3) 専用容器にて便のご提出となります。

注4) AICS：アミノインデックス[®]がんリスクスクリーニング

男性 AICS（4種）胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん

女性 AICS（5種）胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん

*専用容器での採血が必要となります。

注5) 専用容器での採血が必要となります。

- オプション検査は法定外項目となる為、実施にあたり下記の内容についてご本人の同意が必要です。受診に同意される場合は、自署ください。

血液検査などの法定外項目の受診に同意します。
法定外項目の検査結果は法定項目と同様に取り扱われることに同意します。

平成 年 月 日

事業所名

氏名

血液検査は、病気の診断を決定する要素ではなく、総合的に判断する目安のひとつです。早期の病気の場合、反応が弱く、異常値として結果にはあらわれないこともあります。基準範囲であったからといって、病気を否定するものではありません。自覚症状等がございましたら、さらに詳しい検査を受けられることをお勧めします。

お問い合わせ 松阪市健診センター ピース
予約課 0598-23-7563



H25.4月